

のびのび



令和3年度校長室だより 5月27日号

湯田小学校の大切な言葉：あしたも会おうね 温かい学校 ～学び合い～

チャレンジ目標：湯田小ABC

JRC 活動 ～ 山口県内の161校の中心校として～

校長 藤井 智寛

湯田小学校にはいくつかの自慢がありますが、その1つがJRC活動です。JRCとは、青少年赤十字（Junior Red Cross）の略で、日本赤十字社が平和と人類の福祉に貢献できる人材の育成を願い取り組んでいる活動です。湯田小学校は、昭和初期にこのJRCに加盟しています。その後戦争中は青少年赤十字の活動そのものが中断されましたが、昭和49年から再び青少年赤十字が学校の中で組織され、昭和51年4月に湯田小学校は再加盟し現在に至っています。今では全国に1万4000校余りが加盟し、湯田小学校は県内加盟の161校（5月1日現在）の中心的な存在です。



昭和初期加盟当時の
湯田小学校青少年赤十字旗

JRC活動は、生命と健康を大切にする「健康・安全」活動、社会のため、人のために尽くす責任を自覚し実行する「奉仕」活動、広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養う「国際理解・親善」活動から構成されています。湯田小学校では毎年5月にJRCの登録式を行い、古紙・アルミ缶などを回収する「つくしんぼ活動」や各学級で行う「V・S（ボランティア・サービス）活動」などに取り組むことを全校で確認します。また、毎年夏休み中に開催される「リーダーシップ・トレーニングセンター」では5・6年生児童の希望者が2泊3日の宿泊研修に参加し、県内加盟校の児童や時には外国の子どもたちとも交流を重ねています。

JRC活動を組織する日本赤十字社は、このほかにも病院事業・献血事業さらには災害救護活動、そして講習活動を展開しています。このうち、病院事業と献血事業以外の活動は、個人や法人からの寄付のみで運営されています。みなさんのお住いの自治会や町内会でも、日本赤十字社への寄付（社費）がこの5月に集金されているのではないのでしょうか。その寄付の一部がJRC活動に活用されています。

5月は、赤十字社を創立したアンリ・デュナンや近代看護の礎を築いたナイチンゲールの生誕月であり、赤十字運動月間でもあります。コロナ禍の今、さらにはオリンピック・パラリンピックが開催されようとする今年は「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」などJRC活動が大きく注目される年になると思います。

令和3年度運動会 今年ならではの工夫をして

運動会当日は、温かいご声援ありがとうございました。参加者数に制限をかけるなど、各家庭にご迷惑をおかけしましたが、子どもたちや学校もこれまでにない形での運動会を盛り上げるためにいろいろと工夫してきました。



昇降口掲示板にスローガンやポスターを掲示しました



一言メッセージをみんなが掲示板に貼りました



朝の時間を使い、リモートで応援練習をしました



運動会当日、6年生は意気込みを黒板に書き込みました

創立150周年をひかえて

湯田小学校は、2年後の2023年に創立150周年を迎えます。150年といえば大きな節目であり、それに向けた準備も今年度中にスタートする予定です。また、皆様方からも150周年を祝うためのアイデアを募集したいとも考えています。

ちなみに、100周年では「湯田小学校百年史」と題した330ページに及ぶ記念誌が発刊されていました。今の時代に、なかなかそこまでの時間と労力そして経費をかけることは難しいと思いますが、数十年後に本校の歴史を紐解くとき、150周年としての足跡が残ればとも考えています。そのためにも保護者の皆様はもちろんですが、地域の皆様方もどうかご協力をよろしくお願いいたします。